

文芸欄



俳句

紅梅会 (東灘区)
日に透けて虹をおりなす石鹼玉
白蓮の愁いのこりて清らかに
吹く風に乱れ舞い散る桜かな
六甲の緑の山もピンク色
夜櫻に星の見えずにあすの道
目高飼う病院待合CT検査
夜櫻ちり垣根越え道までに
しゃぼん玉吹きつつ風を連れ歩く
宝愛句らぶ (中央区)
夏座敷家具も入替え京町屋
露地苺たつぷり食べた吾子の口
ジャム作り鍋の苺と格闘す
旅の朝万緑仰ぐ新神戸
神戸練る弘前ねぶた緑の夜
風と虫ともに入らん竹簾
簾越し娑婆を見守るあの世から
露時雨傘開く人置む人
梅の美会 (兵庫区)
夏の空地震雷コロナ禍
孟宗竹凜凜伸びて食卓に
かさばる葉十葉の花押し上げる
紫陽花や道行く人に笑顔する
蟻の列乱して通るシルバーカー
食パンの焼ける合図や朝ぐもり
炎天にさらさる手摺持ち難く
青葉クラブ (北区)
振り向けば他人のそら似サングラス
慌たゞし早明け梅雨や暦見る
高原ささゆり会 (北区)
咲き揃う櫻に白き雲流る
参道のいにしえの味木の芽かな

次雨までの香り短かき針槐
河津桜川に添い寝の竜の如
背伸びして腰を労る夏野かな
ひまわり句会 (北区)
筋力に負けじとはげむ草むしり
葉隠れに大粒苺に喜ぶ兒
ひよどり台句会 (北区)
ネモフィラの輝く青さ夏来る
紀州路を分ちて光る夏の川
夏立つや回転ドアの向こうから
新緑の館より溢る輪唱歌
人棲まぬ広き庭々新樹かな
北斗句会 (北区)
姉からの絵手紙すらり花菖蒲
出水川岸辺に古き水難碑
境内の湧水絶えず白菖蒲
早苗響や装束脱いで禰宜上座
右腕は点滴疲れ梅雨に入る
両岸の闇深々と出水あと
藻の花や底まで映ゆる空の蒼
「おいでやす」「おこしやす」よと鱧の店
寺町の藁にそびえ林散華
一列に我迎え立つ花菖蒲
老いてなほ祭り太鼓に浮かれをり
見山台新樹会 (北区)
若葉萌ゆ初給金を知らず孫
駒の首しなやかに伸び牧開く
柔らかな花芽に注ぐ今朝の雨
じやがいもに降る雨音で梅雨に入る
花仕舞虫糸ひきてぶらぶら
我が足で歩くしあわせ若葉風
福寿草句会 (須磨区)
潮風を全身に受け夏に入る
窓といふ窓開け放ち夏に入る
下校バス若き匂ひの夏来る
ウインドーにエアコン展べる立夏かな
多間台ときわ会文芸部 (垂水区)
冷し酒夫と二人縁台に
冷し酒あては活きよし鱈一匹

若林 節子
南 久美子
てる子
辻 寿賀子
石井 敏子
塩見 光子
田中 光子
筒井 豊子
中井 光子
矢谷登美子
藤井久美子
岸下 庄二
脇坂有多子
松本 洋子
金行 隆
久松 礼子
増田 嗣夫
北条 幸夫
秋山 弘之
川原 正
黒田 久江
石本 宏一
貞永 弘子
松隈 弘子
高石 勝行
藤田 和夫
丸尾 嘉子
上原 綾子
林 慎一
岩田美代子
松下修二郎
中村佳代子
大畑留理子

二軒目もひや酒続く愚痴つづく
冷や酒はちよつと癖のある方が好き
波音や独りキャンプ冷し酒
村祭り冷酒浴びる男女衆
桃山台クラブ文芸部 (垂水区)
桜餅心一杯味も香も
寒の戻りくしやみ血圧高止まり
きらく句会 (西区)
三枚の棚田植え終えバナナ食う
ちぎり絵にくらげ泳がせ出雲和紙
ナイターで捨て身になりし勇姿かな
小雨きて水面ゆれるやめだか群
何処へ行く水草の上蟻一匹
菖蒲園たどり着けば休園日
月が丘むつみ会 (西区)
窓ごしに高き街路樹ゆれ美々し
夏の夜に妖しく光るアンタレス
◆個人
夜明け待ち開け放つ窓蟬時雨 (灘) 福井 悦子
蚊帳を吊る釘そのままだやわが生家 (灘) 山上 幸子
恙身になだれて来たる暑さかな (北) 竹村 良子
涼添へし絵手紙届く友若し (北) 山田キミ子
目借時ピンクに透ける猫の耳 (須) 福本 和恵
マスクして「あんだ誰」とコロナ夏 (垂) 藤田 恵子
小粒でもルービーの煌めき桜桃 (垂) 山田とし丸
となり町黄金の波麦畑 (西) 芝田 律子
もっこりや命の炎山若葉 (西) 寺岡 洋子

病院のどの科に行っても顔なじみ
作った句どこにいったか雲がくれ
海を越え嫁ぎし株子七段花
暗い時藤井竜王に光りみる
嫁の趣味誘われ始め弟子になり

◆個人
タイガース勝てば不思議と元氣出る
忘れすぎ俺につけてよAIを
ウクライナBS「寅さん」に癒された
レス踰躰先働か散歩みち
熱帯夜うまい水が命の綱
山笑う今年は違う怒ってる
雨の京風情があるねしつとりと
名月に合わせ散髪満月に
紫陽花もピンル傘で雨やどり

へなぶり
年重ねキャベツ残骸無惨にも
虫と戦う八十路の息子

(東) 辻本美佳子
(東) 増田 芳之
(北) 植田きみ子
(北) かんいち
(北) 北野 利一
(垂) 小高 肇
(西) 大島喜久子
(西) 萩原 浩一
(西) 藤長 文子

(北) 清水 久子

あきら
ときこ
とし子
まり子
まさこ

とっておきの作品
絵はがき
【兵庫区】
御崎南ビル
ほのぼの倶楽部
衣川 晴子

とっておきの作品募集
会員の皆様から、絵はがき&色紙絵を募集しています。必要事項を記入したものを同封の上、作品をお寄せ下さい。
必要事項 ①氏名(ふりがな) ②クラブ名 ③題名 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号
※葉書サイズ(100mm×148mm以内)・色紙サイズ(242mm×272mm以内)をお願いします。それ以外は受付出来ません。
※作品は随時ご返却いたしますが、長期間お預かりする場合がありますのでご了承ください。
※作品は丁重に取り扱いますが、損傷については理由のいかんにかかわらず、一切の責任は負いません。
宛先 〒650-0016 神戸市中央区橋通 3-4-1
KOBEシニアクラブ 「とっておきの作品」係

花山短歌会 (北区)
記憶力の衰えゆくを感じつつ八十二歳の日々バタバタと
桜木はいかなる虫を育てるか小鳥来て鳴く「斜行塔」横
最後の日中学校からのプラスチックバンドの神戸開演孫の吹き納め
離れ住む友の病の気になりて訪ねて見れば家は空き家に
故郷を写真の額に眺むれば有明の海光るが見ゆる
私の前歯一本グラグラし受診をすれば五本差し歯に
ねむの木の薄きもも色つつましく夫の米寿に子等の集まる

◆個人
暑き日や半袖姿見て思い我まだ厚着寒くないかな
八乙女の祈りの田舞に応えあれたわわに実る黄金の秋を

山田加壽代
船崎めり子
磯元カヨ子
木下いく子
清水 恵子
西谷 敏子
古林 保子

記念日よまやカンフオーレ30年みんなで歌い先生感謝
親田畑弟背なに水運び食事風呂たき昭和のケアラ
母の日と娘夫婦に誘われて景色とご馳走ホテル三十階
空高くつばめの声が聞こゆるも姿を見せず我を見るなり
いととき娘戻らぬ笑顔五十回忌重ねし歳に切なく恋し
友人も知人も逝きて八十路来て日々の健康ありがたく想う
君に手を取られて飛んだ水溜まり遠き昔の記憶の断片
生かされて生きてる命の尊さを老友と別れてしみじみ想う
単調な雨の調べに潤うかあじさいの色したたるごとし
万緑やグラウンドゴルフ遠征し水平線も眺めつゝ
為せば成る漢字検定準二級こんな俺でも合格出来た

酒井 郁美
水口 敏子
大賀 清子
箱守喜久子
桑田千枝子
浜田美美代
江口 啓子
秋山シズエ
松浦 妙子
濱頭ミノル
水澤 清

あとがき
今回も多くの原稿をありがとうございました。皆さん元気に活動されているのが紙面を通して伝わってまいります。
立秋が過ぎ、お盆も終わりましたが、まだまだ厳しい残暑が続いております。昔の暑さと比べると、気温が上がりが始めたのが高度成長期で、特に現在60代以上の人の子どもと現在では大きな差が生じています。今と昔では夏の暑さが違うことを認識し、しっかりと暑さ対策をして活動と生活を送りましょう。